

コープみえ 総代通信

2022年1月17日号

編集・発行：機関運営部 機関運営課
Phone：059-271-8502
Fax：059-222-5025
Mail：https://www.coop-mie.jp/form-soudai
(総代に関するご連絡・お問い合わせフォーム)

こちらからもアクセスできます→



知って納得！

総代資料の用語解説 『東海コープ』 編

11月に開催した総代懇談会では、たくさんのご意見・ご質問を出していただき、ありがとうございました。

総代懇談会資料としてお送りしたもののや今後お送りする資料の中で、ふだんの生協利用ではあまりなじみのない言葉・内容について、少しでも身近に感じてもらえるように解説を連載します。今回は『東海コープ』についてです。



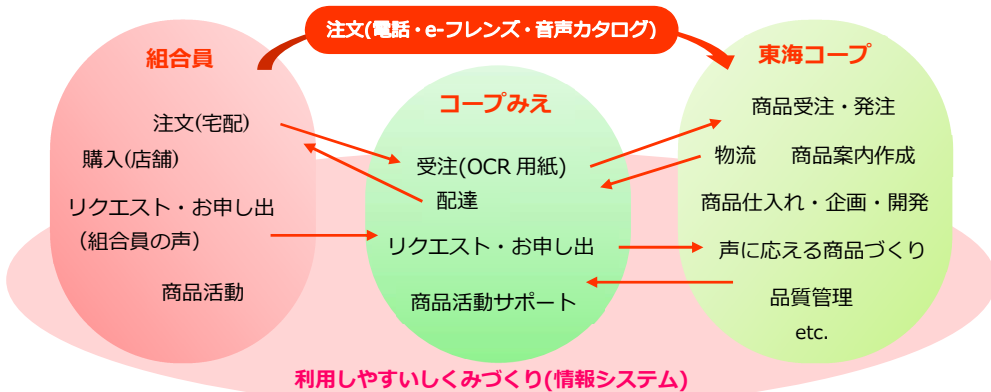
東海コープの正式名称は『生活協同組合連合会 東海コープ事業連合』。コープぎふ・コープあいち・コープみえの3生協が会員となっており、3生協から、商品の仕入れや企画・開発、物流、情報システム等の事業の一部を委託しています。

商品の仕入れや物流、システムなどを共有することで、より組合員の声に応える商品づくりやしくみづくりを実現できています。

東海コープへは、コープみえからも2021年12月現在16名の職員が出向しており、さまざまな部門で活躍しています。



東海コープ本部(名古屋市名東区)
コープあいち本部もここにありです



「組合員へのお役立ち」を第一にすすめている業務の一部です！

《商品仕入れ・企画・開発・改善》

品ぞろえ・品質保証の考え方や基準に基づいて、東海3生協で取り扱う商品の商談・仕入れ・企画をしています。また組合員の意見・要望から商品の開発・改善に取り組み、より組合員の暮らしに応えられる商品案内や注文のしくみづくりをすすめています。



*開発・改善の取り組みは、総代懇談会資料と一緒にお送りした『声をカタチに』に掲載



ハム・ソーセージなど畜産加工品のバイヤー担当です。トレンドやニーズに合った商品を提案できるように、常に情報収集・分析をしています！

コープみえから出向 高木良介さん

《商品検査センター》 年間10,000件以上の検査が行われています。

商品検査センターの役割は、東海3生協で取り扱う商品について微生物や残留農薬などの検査を通じて科学の目で品質や安全を支えることです。また、商品案内や広報誌で「食の安全安心」「食と健康」などに関わる情報を提供しています。2020年～2021年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの学習会や検査センター見学会が行われました。

コープみえからは落合美咲さんが出向しており、主に残留農薬検査や食品添加物検査を行っています。

生協の「安全・安心」を支える仕事をしていることにやりがいを感じています！



落合美咲さん

《物流》 宅配商品は温度帯で流通経路が異なります。



農産セットセンター(愛知県津島市) 桑名セットセンター(桑名市市部)

『ジャパン・サステナブルシーフード・アワード』受賞

2021年10月12日、サステナブル・シーフード(持続可能な水産物)の普及などに貢献したプロジェクトを表彰する、第3回『ジャパン・サステナブルシーフード・アワード』において、日本生協連の『コープサステナブル』“海の資源を守る”シリーズ発売、及び『責任ある調達』への取り組みがリーダーシップ部門チャンピオンに選ばれました!

取り組みや数値化された目標、「コープサステナブルシリーズ」として、組合員がサステナブル・シーフードを選びやすくなっている点などが評価されました。

例えば『たらこ・明太子シリーズ』は…



海の資源を守る

海の資源を守る

MSC 認証のアメリカ(アラスカ)産すけとうだらの卵を使用しています。

「海のエコラベル」MSC 認証を取得した製品

続けている漁業を考えよう。魚をとれるだけとっていると海の資源は枯渇してしまいます。とりすぎないように管理された漁業でとられた水産物につけられる認証ラベルが「MSC ラベル」です。組合員さんがMSCラベルのついた商品を買う、つまり持続可能な漁業でとられた魚を選ぶことで、食卓から海を守るしくみが成立します。



この製品は、MSC(海洋管理協議会)の基準に則り認証された、持続可能で適切に管理された漁業でとられた水産物です。



アラスカのすけとうだら漁は冬から春にかけて、袋状の網を船で引き回すトロール漁で漁獲されます。毎年、漁獲枠を設定して獲りすぎないように漁獲量を管理。また、網目を粗くして小さな魚を逃がす、サーモンなど別の魚種と一緒に獲ってしまう混獲を防ぐなどの工夫をして、海の大切な資源をずっと残していくための取り組みを行っています。

コープ商品が紹介されています『かいじゅうステップ SDGs 大作戦!』

円谷プロの『かいじゅうステップ』公式サイトで、エシカル商品の一例としてCO・OP商品が紹介されています。子どもと楽しくSDGsとエシカル商品について学べるページです。ぜひご覧ください♪

『かいじゅうステップ』URL ⇒ <https://sdgs-kaijustep.com/>



『かいじゅうステップ』トップページの、こちらのバナーをクリック!



SDGsの目標と連動したアニメもありますよ~(YouTube)

阪神淡路大震災から26年

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から、26年経ちました。この震災の教訓を踏まえて法令の改正や被災者支援のしくみの整備が行われ、また多くの防災事業の原点となっています。

発災後、全国の生協が支援のため神戸に駆け付け、生協事業の再開だけでなく、救援物資の受け取りや仕分け、炊き出しなど、組合員だけでなく地域にとって必要な支援活動を行いました。

このような大規模災害の際に地域と連携して生協としての役割を果たせるように、現在、県内各市町とコープみえとで、災害時の支援協力協定の締結をすすめています。

2021年度 12月度までの決算の報告

(自2021年3月21日 至2021年12月20日) 万円未満切捨

	実績	計画	計画比	前年	前年比	説明
供給高合計	176億4,731万円	167億21万円	105.7%	177億8,656万円	99.2%	宅配、店舗、カタログ及びギフト、夕食宅配の供給高合計
経常剰余金	7億6,753万円	4億96万円	191.4%	8億3,655万円	91.7%	事業剰余金と事業外収益から事業外費用を引いた残りの剰余金
仲間づくり	6,987名	9,366名	74.6%	8,126名	85.9%	新規加入組合員数

2021年12月までにすすめてきたこと

2021年度第19回通常総代会で可決された議案に基づいてすすめてきたことを報告します。

《共済事業》

2021年11月1日から、こくみん共済coop〈全労災〉が元受け団体となり、コープみえでマイカー共済の取り扱いがスタートしました。

こくみん共済coopが展開されている『7オの交通安全プロジェクト』の一つ、マイカー共済の見積もり依頼で「コーすけ」と「ピットくん」の横断旗が寄贈される取り組みに参加しています。

コープみえの組合員と役員が見積もり依頼をすると、1件につき横断旗1本が全国の児童館等に寄贈されます。マイカー共済の利用を通じた社会貢献活動をすすめていきます。



横断旗のイメージ

《災害対策》

宅配・店舗・福祉・夕食宅配の4事業について、『コープみえ事業別BCP(事業継続計画)』を策定しました。

大規模災害時に組合員のくらしを守る事業を継続しながら、行政や地域の要請にも応えていけるように災害対策に取り組みます。

BCPとは?…コープみえが災害等により中断した事業を再開する場合にとるべき行動等をまとめたもの。環境の変化等に応じ、見直しを行っていく。

《人づくり・職場運営》

コープみえが「みえ働き方改革推進企業」に登録されました。登録期間は2021年11月1日から2年半です。



認定のシンボルマーク